

令和7年度 第3回学校運営協議会について（報告）

令和8年3月4日（水）に開催致しました学校運営協議会の要旨を報告致します。

会 長：中島 智子（大阪大谷大学 元特任教授）

副会長：宇野 里砂（武庫川女子大学 教授）

委 員：宇野 貴子（藤井寺市立藤井寺小学校 校長）

竹澤 住江（卒業生保護者 児童発達支援・放課後等デイサービス Snuggle UP）：欠席

尾濱 一信（藤井寺市川北地区 区長）

森川 雅子（PTA会長）

*敬称略

1 開 会

- ・配布資料の確認
- ・挨拶（校長より）

2 報 告

①学校教育自己診断アンケートについて（教頭）

- ・保護者アンケート…回収率78%で、小学部から多くの回答があった。多くの保護者が各項目で肯定的回答をされているが、「学校は将来の希望や職業などについて適切な指導を行っている」は肯定的意見84%と少し下がった。「施設・設備は整えられている」は前年に引き続き低い数値となり、「学校でiPadなどの情報機器を活用している」、「防犯に対する意識を高める取り組みを行っている」は他項目に比べると低い結果であった。来年度に向けて取り組みたい。
- ・教職員アンケート…「専門性」「キャリア教育を踏まえた授業づくりや教育活動」「交流及び共同学習を積極体に取り組んでいる」「教職員間の相互理解・信頼関係に基づいて教育活動が行われている」の項目で肯定的意見が向上した。肯定的回答が低かったところでは、「いじめが起こった際の体制が整っており迅速に対応することができるか」、「教職員の労働衛生環境、労働条件」であった。

3 協議内容

①令和7年度「学校経営計画（評価）」について（校長）

- ・全体で多くの項目が達成できている。
- ・アレルギー研修2回のうち実施が1回であったので、自己評価△となっている。

（委 員）学校教育自己診断の結果は重要だと考える。保護者・教職員から施設・設備への否定的意見が多かったこと、関連して教職員の労働条件の低さ。どういうところからを把握することで、府に改善を求めることに使えるのではないかと。教職員の「いじめ体制」での少し否定的な意見にあり、しかし保護者は高い。おそ

らく、いじめが起こったときの体制について考えた方が良いのではないかと。どうしてそういう意見になったかを把握し改善へつなげてほしい。働き方改革の取り組みで教職員と保護者との差が大きい。教職員がどんなところに課題を感じているのか。把握したうえで、取り組むことが大切ではないか。

(委員) いじめに関することでは、教職員は対応について課題があると感じているが、保護者は肯定的である。組織としての対応、そこから、保護者と学校の意識がリンクできるのではないか。

保護者の結果では iPad などの活用が中学部では数値が落ちているので、取り組み方や保護者へのアピールの仕方など検証されてもいいのではないか。

回収率が高く、WEB と紙面での両方で努力されている。

(委員) 自由記述へのフィードバックがあると、回収率は上がっていくという取り組みを聞いたことがある。保護者へ返していくことで、回収率が上がる可能性がある。書いたら実現するというの感じてもらえる仕掛けがあると良いのではないか。

(事務局) PTA の協力あり、回答の促しも行っている。

②令和 8 年度「学校経営計画（計画）」について（案） （校長）

- ・特に「働き方改革」に関して、給特法の改正により調整額の段階的変更が行われ、あわせて働き方改革が義務付けられている。地方教育行政法の改正で、業務量の管理や健康確保措置実施計画の報告が義務付けられ、中期目標の 4 が前年度から修正された。
- ・防犯、キャリア教育、指導案作成向上に向けて、3 点に力を入れたい。また引き続き地域連携をすすめていきたい。

(委員) 保護者の結果からも防犯の不安はあったので、防犯の取り組みは良いと思う。いじめの起こったときの体制については、どこかに読み取れるところがあるのか。かつて、いじめの事件で学校でなく外部でいじめがあった事件があった。もし事があったときに、その対応についてどこかで読み込めたら良い。

(委員) いじめに関して想定される前提がなく、教職員の気持ちが薄れているところがあるのではないか、(4) ②防災での引き渡し訓練が新設され、そこでは具体的な取り組みがある。いじめに関しても具体的な取り組みがあることで、いじめの認識、懸念されるポイント、どういうことが関係者間で共有されるのか、など意識されるのではないか。

そういった研修を、①人権の中に部分的に組み入れてもらえたら、意識がもてるのではないか。

(事務局) 年 3 回のいじめアンケート実施している。事案が上がってくれば、いじめ対策委員会の仕組みがある。低さの原因をつかみ切れていない。①の人権のところでも対応していくところである。

(委員) 「働き方改革の推進」は、去年の項目名で修正が必要ではないか。

(委員) 地域交流では駐車場の整備、ボッチャ交流、バザーの手伝いを行った。グラウンド整備も実施予定。学校が避難先の指定ということもあり、実際に休日に体育館を開けてもらい避難訓練を行った。消防署から感謝状をもらった。防災拠点として今後お願いしたい。

(委員) 地域の方に協力していただき、感謝をしている。

(議長) ①人権に関して、いじめの対応を検討、4「働き方改革」の修正を踏まえて、令和8年度学校計画を承認

閉会